

令和5年度 第2回豊橋市健幸なまちづくり協議会母子保健推進部会議事録

日時	令和5年10月25日(水) 午後1時30分～午後3時
場所	豊橋市保健所・保健センター 第1会議室
出席委員	豊橋市健幸なまちづくり協議会母子保健推進部会 9名
事務局	豊橋市保健所 こども保健課
会議の議題	議題(1) 健康とよはし推進計画(第3次)案について 議題(2) 健康とよはし推進計画(第3次)案における母子保健分野に関する目標値について
議事の概要	以下に記載
事務局	議題(1) 健康とよはし推進計画(第3次)案について 議題(2) 健康とよはし推進計画(第3次)案における母子保健分野に関する目標値について
委員 A	妊産婦歯科健診の受診率の目標について、50%くらいを横ばいはずっと推移していると思う。もう少し受診率を上げていけるとよいと思うが、全体的な過去1年間に歯科検診を受診した者の割合をみると普段から行かない人が妊産婦健診も受診しないと思われる。目標値に関しては実現不可能な数値ではいけないが、なるべく高くお願いしたい。 目標指標3「1週間の総運動時間」について、小学5年生を取り上げるのはどんな意味があるのか。
事務局	小学5年生と中学2年生という設定をしているのは、成育医療等基本方針の中で示されている評価指標と合わせている。
委員 A	運動と口腔機能の発達との関係で乳幼児期の運動は口腔機能の発達にも影響があるので、口腔機能の発達を考える上でも重要な目標指標だと思う。
委員 B	基本方針1(1)生活習慣の改善の⑤喫煙の目標項目「望まない受動喫煙の機会を有する者の割合」が40.9%は高いと感じた。この数値は家庭での数値に職場、飲食店を足したものの認識で良かったか。
事務局	家庭内の受動喫煙と職場、飲食店の受動喫煙を合わせた数字となっている。
委員 B	今、職場や飲食店でも禁煙や分煙が進んでいる中で受動喫煙をしている割合が半数近いのは高いと思った。今後、調べていくことができれば、どこで受動喫煙しているのか場所も調べられるとよいと感じた。 とよはし健康宣言応援事業という企業への出前講座も行っており、禁煙に関する講座もある。企業や職場で受動喫煙されることがあるのであれば、講座で周知していくというのも一つの方法だと感じた。 また、学校でタバコの出前講座を行っているが、こども保健課から学校、学年指定で講座の依頼がある。現状、6年生のみに出前講座を行っているが、児童からタバコについて、学校の先生からタバコについて教えられることはないと思う。6年生になる前にもう少しタバ

	<p>コについて正しい知識を得る機会があってもいいのではないか。今、タブレットも一人1台持っていて、週末に家に持ち帰っている。そのタブレットの中にタバコについて学べるコンテンツがあってもいいのではと感じた。</p>
事務局	<p>どこで受動喫煙を受けているかに関してはアンケートで把握している。公園などの公共の場所が最も多かった。その点については引き続き把握に努めていきたい。</p>
委員 C	<p>目標指標1の「朝食を欠食する者の割合の低下」について、今、スマホやメディアの使用により生活リズムが乱れて朝食を欠食する子もいるので0%にするのはハードルが高いと思った。</p> <p>「次世代の健康支援」の取り組みの課題としてメディアコントロールのこともあげているが、児童相談所で関わる子どもも生活リズムが乱れていたり、スマホ依存となっている子が多く、メディアとの正しい付き合い方について啓発してもらえるとよいと思った</p>
委員 D	<p>先日、豊橋まつりで、小中学生に対して年齢に合わせて箸やスプーンでお菓子を小さい紙コップにうつすという内容のイベントを行った。その中でお箸の使い方が上手でない子どもがすごくたくさんいて、ちゃんと使えている子どもが少なかった。小さい時から体を動かす習慣が少ない子どもが多いと感じた。小さなうちから体を動かしたり、手を動かす習慣を促せるような取り組みがあるとよい。イベントに参加した子どもの母が「箸なんか使えないじゃん」と、子どもがやりたがっているのに先に言う方がいた。大人が子どものチャレンジする機会を奪っているということがとてもあるので、周りの大人がもっと子どもが体を動かせるようなことを環境づくりとしてやっていく必要があると感じた。</p>
委員 E	<p>目標指標3の「1週間の総運動時間」について、小学校で部活がなくなったり、中学校でも部活の時間が縮小しており、子どもたちが自ら運動する時間や場所を見つけなければ、運動時間を増やすことはできない状況だと思う。その中で、公園でボール遊びをしてはいけないという決まりがあったり、子どもたちが外で遊ぶ環境が整っていない。外で遊ばなくても家の中でゲームやスマホを見る時間がとても増えているので、運動時間を増やすという目標の前に子どもたちの運動を増やせるにはどうしていったらいいかを考えていく必要があると思った。</p>
委員 F	<p>受動喫煙防止などの取り組みの方向性の中で妊娠届出時に正しい知識を周知していく等の取り組みを行っていくことになっているが、今、妊娠届出時に夫婦で来所される方はどれくらいいるのか。</p>
事務局	<p>具体的に割合としては把握していないが、金土日にもども未来館で母子健康手帳を交付していることや子ども保健課でも木曜に夜間窓口を設けていることで、夫婦で来所される方は増えている印象がある。また、実母、兄弟などの親族と一緒に来所される機会も増えていると感じる。</p>
委員 F	<p>夫婦で妊娠届出に行った時に、保健師がとても丁寧に話をしてくれ、今回の妊娠のことや子どもを迎える家庭の状況を聞いてくれる中で、父親の育休について話をしてくれたのが夫に響いたという話を聞いた。妊婦から「育休を取って」と申し出があっても耳を貸さなかった夫が育休の制度や取得方法、実際取得されている方の現状について説明を聞き、育休を取ると言ってくれたと聞いた。受動喫煙や子供の発達についても夫婦で一緒に正しい情報を聞く機会が増えていくと、母親が父親に伝えるよりも、直接、父親に届くということがプラスに動くのではないかと感じている。支援センターで話をしている中では、4か月児</p>

	<p>健康診査もなるべく夫婦で行って、夫婦で子どもの発達をみて、今後の発達の見通しや関わり方を直接伝える機会があるとよいと最近とても感じている。</p>
委員 G	<p>目標指標 1 の「朝食を欠食する者の割合」が令和 4 年に 3 歳児で 6.9%となっている。平成 28 年の数値を確認したところ 5.7%となっており、割合が高くなっている。3 歳で朝食を欠食するのは家庭環境によると思う。朝なかなか起きられないなどの理由があると思うが、3 歳で朝食を欠食する者が増えてきた理由には何かあるか。6 年生になると体型を気にして朝食を抜くこともあるとは思うが、3 歳だと保護者の生活に対して伝えていく必要があるか。それ以外で何か理由としてあるのかを知りたい。</p>
事務局	<p>朝食欠食率は、3 歳児健診の問診で把握している項目だが、理由は集計としては出していない。個々では状況を把握し話はしているが、3 歳の子が自分でご飯を用意できないのでやはり親への啓発が大切だと思っている。幼少期の生活習慣が、成長した時の生活習慣に繋がっていく。中学校、高校と年齢が上がっていくにつれ、その子が自分で選択ができるようになった時に考えていけるよう、対象に合わせた健康教育をしていきたいと考えている。</p>
委員 G	<p>運動時間について。子どもに関わるサポートということで、ファミリーサポートセンターでは子どもの習い事の送迎を行うこともある。習い事で多いのは英語、ピアノ、習字、塾などの勉強ができるものである。母親の仕事終わりの時間に合わせて習い事に行かせている方もいる。体育の授業以外で運動することが、なかなか難しく、子どものスケジュールがいっぱいいっぱいで余裕がない。一方で、サッカーやバレーなどの運動の習い事をする方もいる。運動を好きな子と嫌いな子で分かれると思う。保育園の時は遊びが中心で体を動かしていると思うが、そのまま継続して小学校でもたくさん動く時間ができればいいと思う。</p>
委員 H	<p>目標指標の数字については、これでよいかと思うが、目標指標 3 の「1 週間の総運動時間」が、国の目標が厳しく設定し過ぎてないかなと感じる。国の目標を令和 16 年とすると、かなり難しい目標値になってくると思われる。これが増える要素があまり考えられず、コロナもあって、運動する時間がどんどん減っているので、今後本当に増えてくるのかという疑問もある。今後、増やすために、どういう取り組みを、市で行っていく必要があるかを考えると、なかなか難しい目標値ではないかと思うので、もう少し実状に沿った目標値設定にしてはどうかと思った。</p> <p>また、目標指標 13 の「低出生体重児の割合の低下」だが、これについては、現在、出生数はどんどん減っているが、低出生体重児は一定の割合で絶対に出てくる。となると出生率が減ってくれば必ず増えてくるものである。目標値としては、減少とするしかないが、何か努力によってコントロールできるものではなく、出生数を増やすしかなくなる。そうすると壮大な目標になってくる。ただ、目標指標 7 の「この地域で子育てをしたいと思う親の割合」は、とても多いので、やはり若い人をどんどん豊橋に住んでもらう政策とか助成等といった観点で考えていけたらよいと思う。</p>
議長	<p>目標指標 3 の「1 週間の総運動時間」についてだが、私も忙しく、なかなか公園等に行けないうが、子どもと遊ぶ時には、外周を歩く方が多いという印象を受ける。特に小学校の親御さんが時間を作って子どもと向き合うことも必要と思われる。</p> <p>それと、あまり子どもたちだけで遊ぶ姿は見かけないので、子ども同士で少しでも遊べる環境を取り戻す取り組みができるとよいと思う。体を動かすことは、やはり精神的にもよい影響がある。</p> <p>予防接種については、コロナ渦という特殊な状況もあったため、コロナ渦の前のものと</p>

	<p>比べるということが大事だと思う。</p> <p>最後に、人が増えると、いいことがある。なかなか現状では難しいが、もう少し出生数が増えていくといいと思う。</p>
議長	<p>本日の議題については、これで終了とする。全体を通じて何かご意見等はあるか。</p>
事務局	<p>本日、たくさんの意見をいただき、難しいと感じていた指標についてもご意見をいただいた。地域で活躍されている委員の方から課題や現状について伺い、現状を踏まえて取り組み、目標を実現する事業でありたいと思っている。また、事業を進めるだけでなく、ハード面、制度等、環境もすごく大切であると感じた。本日いただいた意見を踏まえ、事業や計画の中に取り込んでいけるようにしたい。</p>